



# 令和 8 年度入学者選抜 大学院看護学研究科 学 生 募 集 要 項

## 看 護 学 専 攻

基盤看護学 分野

臨床看護学 分野

広域看護学 分野

助 産 学 分野

## 日本赤十字北海道看護大学

Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing

# 目 次

はじめに / 教育理念・大学院の目的・教育目標と3つの方針	2
募集人員 / 修業年限	3
専攻分野と領域 / 令和8年度入学試験の概要	4
出願資格	5
出願要件 / 出願手続き及び出願書類等	6
入学検定料の納入 / 試験場 / 選抜方法 / 試験日時	9
合格発表 / 入学手続き	10
授業料等納付金	11
担当教員連絡先	12
個別の入学資格審査 / 出願書類の送付先及び問い合わせ先	13
注意事項	14
入学者選抜に関するQ&A / 受験上の配慮について / 年度内の再受験について	15
プライバシーポリシー	16

## はじめに

この「学生募集要項」には、出願書類の提出から受験に関すること、入学手続きの方法などが記載されています。

受験にあたっては、この要項を熟読し間違いのないよう出願手続きを行ってください。出願登録はインターネットにより行なうこととなりますので、本学ホームページに掲載しているインターネット出願ガイドを熟読のうえ出願手続きを進めてください。

## 教育理念・大学院の目的・教育目標と3つの方針

### 【教育理念】

本学は、建学の精神である赤十字の理想とする人道的任務の達成を図るため、看護に関する学術を中心として、広く知識を授け、深く専門の学術を教授、研究するとともに、知性、道徳及び応用的能力を養い、もって国内外で活躍できる実践力をもった看護専門職の育成及び看護学の発展に寄与する。

### 【大学院の目的】

本大学院は、建学の精神である赤十字の理想とする人道的任務の達成を図るため、看護に関する学術の中心として、広く看護の実践と教育・研究に関する理論と専門技術を教授研究し、深い学識及び卓越した感性と人間性を備えた高度な看護専門職の育成を図り、看護学の発展とともに世界の人々の健康と福祉の向上と豊かな生活の創造に寄与することを目的とする。

### 【教育目標】

1. 高度専門職業人としてリーダーシップを発揮できる看護職者の育成
2. 看護職者の育成及び生涯教育を担うことができる看護教育者の育成
3. 学術的な看護研究を推進できる研究者の育成
4. 看護実践の場で、効果的に看護管理を行う人材の育成
5. 国内外における災害救護に尽力できる看護職者の育成
6. 自律した助産師の育成

### 【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】

修士課程に所定の期間在学し、本大学院の修了要件となる単位数を修得するとともに、学位論文審査と口頭試験に合格し、以下の要件を満たす者に、修士（看護学）の学位を授与する。

1. 人間の尊厳と権利を擁護し、倫理観をもとに問題を探究する能力
2. 臨床現場のさまざまな課題を幅広い視点から捉え探究する能力
3. 保健医療福祉システムにおいて、多くの専門職と協働し、看護の対象に看護職としての役割を発揮する能力
4. 研究に取り組むための基礎的能力

### 【教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）】

本大学院には4分野12専門領域の教育課程を開講し、それぞれのカリキュラムを編成する。さらに、慢性看護学と精神看護学の分野には専門看護師認定審査に必要な専門科目、助産学分野には資格取得のために助産師養成課程を設置する。

本大学院においては、その掲げる教育理念及び教育目的を達成するため、以下の方針に基づき教育課程を編成する。

#### 1. 教育内容

- 1) 広い視野に立って、学際的な教育・研究をする能力を強化するため、共通科目と専門科目をおく。
- 2) 12の専門領域における専門性を高め、学術的な課題を深く探究するため、必要な科目をおく。
- 3) 看護の専門的知識や実践能力を多面的に発展させることができるよう、専門分野を超えた科目の選択を可能とする。
- 4) 専門看護師認定試験受験資格に必要な科目をおく。
- 5) 助産師国家試験受験資格に必要な科目をおく。
- 6) より広範な研究能力の修得を支援するため、看護学以外の学問領域の教員を含め、総合的な教育・研究指導体制とする。

#### 2. 教育方法

- 1) 社会人学生が在職のまま修学できるよう大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置に基づき、昼夜開講、土曜開講、及び大学院設置基準第15条に定める長期履修制度を設定する。
- 2) 北海道の地域特性（冬季の吹雪・長距離の通学等）を踏まえて、対面授業を原則としつつもオンラインによって参加可能な授業方法を整備する。
- 3) 学生が希望する専門領域、専門看護師・助産師養成課程ごとに履修モデルを提示し、研究指導教員等による履修指導を行って効果的な学修を支援する。
- 4) 研究能力を修得できるよう研究指導教員等が、学生一人一人へ個別に指導を行って学修を支援する。
- 5) 学年を超えた学生同士の学び合いを活性化させ、分野を超えた多面的な学びが得られるよう定期的に演習科目を合同で開講する。さらに研究計画発表会、修士論文発表会を設定し、主体的な研究活動の発展を支援する。

### 3. 教育評価

- 1) 科目ごとに明確な成績評価基準のもとに評価する。
- 2) 人々の健康問題に深い関心を持ち、看護学を探究したい人。
- 3) いのちに対して豊かな感性を有し、助産学を探究したい人。
- 4) 赤十字の役割である災害看護を探究したい人。

#### 【 学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー） 】

日本赤十字北海道看護大学大学院修士課程は、建学の精神である赤十字の理念に基づき、社会における看護専門職者の役割を認識し、研究的な視点から学際的・創造的に看護を実践する人材の育成を目指しています。それらを達成するために、次のような人材を求めています。

#### 〈求める学生像〉

1. 赤十字の理念である“人道（Humanity）”に共感し、赤十字の活動に高い関心がある。
2. 将来、教育者、研究者、管理者または高度実践看護職者として貢献する明確な意思がある。
3. 人間の尊厳と権利を擁護する高い倫理観を持つ。
4. 志望する専攻分野・領域の知識を基盤として、課題を探究する基本的な力を有する。
5. 自らすすんで積極的に課題に取り組む意欲や探究心を持つ。

#### 〈入学までに学習・修得しておくことが期待される内容〉

1. 根拠に基づいて科学的に思考し、的確な判断に基づくケアを倫理的な配慮をもって実践する能力
2. 文章を正確に読解し、論理的な文章を記述する、自身の意思を適切に表現・伝達するとともに相手の意思を的確に理解するなどの言語運用能力
3. 集団の活動に意欲的に参加し、他者を尊重して協働しながら活動をやり遂げる能力
4. 自ら課題を見つけ、それらを解決していく課題解決能力
5. 自分で自分の学業、行動、態度などを適切に査定し、他者とのかかわりの中で改善調整する自己評価能力

#### 〈入学者選抜の基本方針〉

入学者の選抜は、本学が求める学生像1から5を踏まえ、学力検査（専門科目の筆記試験もしくは小論文）と面接により総合的に判定します。履歴書及び推薦書は面接の参考になります。なお、複数の受験機会を提供するため、次の入学者選抜区分により入学者を選抜します。

##### 1. 一般入学試験

大学を卒業したもの及び同等以上の学力があると認めたものに対し、学力検査（専門科目の筆記試験）、面接を実施して評価し、合否判定を行います。

また、求める学生像1，2，3，5に関わる資質は面接により評価します。4. は、学力検査（専門科目の筆記試験）、面接により評価します。

##### 2. 推薦入学試験

大学を卒業した者及び同等以上の学力があると認めたもののうち、推薦基準を満たしているものに対し、学力検査（小論文）、面接を実施して評価し、合否判定を行います。

また、求める学生像1，2，3，5に関わる資質は面接により評価します。4. は、学力検査（小論文）、面接により評価します。

## 募集人員

「基盤看護学分野」、「臨床看護学分野」、「広域看護学分野」、「助産学分野」合わせて16名。

## 修業年限

標準年限：2年

長期履修制度：3年（長期履修制度希望者は、入学後に申請）

## 専攻分野と領域

分 野	領 域	一般	専門看護師 教育課程	助産師養成課程
基盤看護学	基礎看護学	○	—	—
	看護管理学	○	—	—
臨床看護学	慢性看護学	○	○	—
	リハビリテーション看護学	○	—	—
	がん看護学	○	—	—
	老年看護学	○	—	—
	小児看護学	○	—	—
広域看護学	精神看護学	○	○	—
	公衆衛生看護学	○	—	—
	在宅看護学	○	—	—
	災害看護学	○	—	—
助産学	助産学	○	—	—

## 令和 8 年度 (2026 年度) 入学試験の概要

(出願及び入学手続き書類は、当日の消印有効)

一般入学試験 (追加募集)	出願期間	令和 8 年 2 月 9 日(月)～令和 8 年 2 月 20 日(金)
	試験日	令和 8 年 2 月 28 日(土)
	合格発表	令和 8 年 3 月 4 日(水) 15:00
	入学金納入期間	令和 8 年 3 月 5 日(木)～令和 8 年 3 月 18 日(水)
	入学手続き書類提出期限	令和 8 年 3 月 18 日(水)

※出願を希望する者は、あらかじめ志望する分野の担当教員と必ず面談し、今後の研究活動について相談してください。電話・E-mail での相談も可能です。電話番号・メールアドレスは、12 ページに掲載されています。

## 出願資格

本大学院の看護学専攻(修士課程)に出願することのできる者は、本学が定める次の各号の入学資格のいずれかに該当するものとします。

- (1) 大学を卒業した者(令和8年3月末日までに卒業見込みの者)
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者(令和8年3月末日までに授与見込みの者)
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者(令和8年3月末日までに修了見込みの者)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者(令和8年3月末日までに修了見込みの者)
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者(令和8年3月末日までに修了見込みの者)
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む)により、学士の学位に相当する学位を授与された者(令和8年3月末日までに授与される見込みの者)
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(令和8年3月末日までに修了見込みの者)
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者を本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの  
※本項により出願しようとする者は、事前に入試課へ入学資格について相談してください。
- (10) 令和8年3月末日までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程若しくは我が国において外国の大学の課程(その修了者が学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定する当該課程を修了し、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者  
※本項により出願しようとする者は、事前に入試課へ入学資格について相談してください。
- (11) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの(令和8年3月末日までに22歳に達する者)  
※本項により出願する場合は、事前に本学が実施する個別の入学資格審査を受けてください(13ページ)。この個別の入学資格審査による認定は、同年度内に限り有効です。ただし、以下の場合は個別の入学資格審査を受けずに入学資格を付与します。

### <個別の入学資格審査の免除>

下記①～⑤のいずれかの要件を満たし令和8年3月末日までに22歳に達する者は、入学資格(1)～(10)の者と同等以上の学力があるとみなし、入学資格を付与します。

- ①短期大学を卒業後に、看護系短期大学、専修学校、各種学校を卒業した者(令和8年3月末日までに卒業見込みの者)
- ②保健師助産師看護師学校養成所指定規則第2条もしくは第3条の養成所を修了し、保健師もしくは助産師の資格を有する者
- ③看護教員養成課程(厚生労働省、日本看護協会、都道府県など公共またはそれと同等となる機関の6ヵ月以上の研修学校)を修了した者
- ④認定看護師もしくは認定看護管理者の資格を取得した者
- ⑤看護系短期大学、専修学校、各種学校、高等学校専攻科の卒業生で看護師資格を有し、5年以上の看護師の実務経験を有する者

## 出願要件

次の課程に出願する場合は、以下を出願要件とします。

『専門看護師教育課程』

入学時に看護師の実務経験が5年以上あり、そのうちの3年以上は専門とする特定分野の経験であること。

## 出願手続き及び出願書類等

下記書類等を取りまとめ、入試課宛に「簡易書留・速達」で郵送してください。出願方法の詳細は「インターネット出願ガイド」を確認してください。

### ①事前に準備しておく必要がある書類

出願書類等	摘 要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出願領域・出願資格記入票</li> <li>・ 履歴書</li> </ul>	<p>本学所定の用紙を使用してください。 ※本学ホームページから所定の様式をダウンロードしてください。</p>
<p>卒業および成績に関する証明書</p> <p>出願資格要件ごとに書類を提出してください。</p>	<p>出願資格（１）により出願する者は大学の卒業証明書または卒業見込証明書および成績証明書。 出願資格（２）により出願する者は次のとおりです。</p> <p>ア．既に学位授与機構により学位を授与された者は、学位授与証明書、ならびに学位授与の対象となった専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書。</p> <p>イ．既に学位授与機構に認定修了を申請している者は、学位授与申請受理証明書、ならびに学位授与の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書。</p> <p>ウ．10月に学位授与機構に認定修了申請をしようとしている者は、学位修得の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行う機関の単位修得証明書。</p> <p>出願資格（３）、（４）、（５）、（６）、（７）、（８）、（１０）により出願する者は修了（卒業）証明書および成績証明書または単位修得証明書。</p> <p>出願資格（９）により出願する者は大学院の在学期間証明書または修了証明書および成績証明書または単位修得証明書。</p> <p>出願資格（１１）の</p> <p>①により出願する者は、短期大学の卒業証明書および成績証明書または単位修得証明書。併せて看護系短期大学、専修学校、各種学校の卒業証明書または卒業見込証明書および成績証明書または単位修得証明書。</p> <p>②により出願する者は、養成所の卒業（修了）証明書および成績証明書または単位修得証明書。</p> <p>③により出願する者は、看護教員養成所の修了証明書。</p> <p>④により出願する者は、認定看護師または認定看護管理者の認定証の写し看護師の資格を有する者は、上記と併せて看護師国家試験受験資格を得た教育機関の卒業（修了）証明書および成績証明書または単位修得証明書。</p> <p>⑤により出願する者は、看護師国家試験受験資格を得た教育機関の卒業（修了）証明書および成績証明書または単位修得証明書。</p> <p>※証明書は、発行者が厳封したものとします。なお、出願資格審査の認定者は不要です。</p>
<p>在職証明書</p>	<p>出願資格（１１）の⑤により出願する者は、5年以上の看護師の実務経験を証明する在職証明書を提出してください。</p> <p>出願資格（１）により専門看護師教育課程に出願する者は、3年以上の専門とする特定分野の経験を証明する在職証明書を提出してください。</p> <p>※上記に該当する者以外は不要です。</p>
<p>免許証、認定証の写し</p>	<p>看護師・保健師・助産師の資格を有する者は、その免許証の写しをすべて提出してください。</p> <p>認定看護師、認定看護管理者の資格を有する者は、その認定証の写しをすべて提出してください。</p>

顔写真のデータ	出願票・写真票用の顔写真のデータを準備してください（出願前 3 ヶ月以内に撮影したもので本人単身胸から上、無帽・正面向きのもの。写真データ形式 JPEG、容量 100KB 以上 3MB 以下のもの）。 ※詳細は、インターネット出願ガイドを確認してください。
出願書類送付用封筒	角形 2 号封筒（縦 33cm×横 24cm）

外国人出願者は、以下の書類を併せて提出してください。

- ①当該駐在外国公館、又はこれに準ずる機関の推薦書および住民票の写し（在留資格及び在留期間を明示した、市町村長が発行したもの）ならびに日本語能力試験 N 1 合格証明書（検定実施機関から直接大学に送付したものに限り）
- ②日本国内に在住する日本人による出願者の身元証明書（保証人は日本国籍を有する経済的に独立している者で、入学後も引き続いて保証人となりうる者であること）

注）改姓・改名などによる氏名変更により、各種証明書に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、本人および氏名変更確認のため、上記出願書類の他に戸籍抄本等を提出してください。

## ②「インターネット出願登録」及び「入学検定料支払い」後に、印刷する書類等

出願書類等	摘 要
出願票・写真票	「インターネット出願登録」及び「入学検定料支払い」完了後、印刷可能になります。出願票・写真票及び及び封筒貼付用宛名シートをカラー印刷し、記載されている内容に誤りがなければ必ず確認してください。封筒貼付用宛名シートは「①事前に準備しておく必要がある書類」で用意した、出願書類送付用封筒（角形 2 号封筒）に貼付してください。
封筒貼付用宛名シート	

## ※試験場に持参する書類（「インターネット出願」及び「入学検定料支払い」後に印刷）

持参書類	摘 要
受験票	試験場に必ず持参してください。



出願資格（1）～（11）の○を付した次の書類を全て提出してください。

出願書類	出願資格(1)		出願資格(2)～(10)	出願資格(11)				
	看護系大学	看護系以外の大学		①	②	③	④	⑤
・出願領域・出願資格記入票 ・履歴書	○	○	○	○	○	○	○	○
卒業（見込み）証明書または修了証明書	○	○	○	○	○	○	—	—
成績証明書または単位修得証明書	○	○	○	○	○	—	—	—
看護師国家試験受験資格を得た教育機関の卒業（修了）証明書および成績（単位修得）証明書	—	注1	注1	注1	注1	○	○	○
在職証明書（注2）	—	—	—	—	—	—	—	○
在学期間証明書	—	—	注3	—	—	—	—	—
免許証（写） 認定証（写）	看護師・保健師・助産師の資格を有する者は、その免許証の写しをすべて提出してください。 認定看護師、認定看護管理者の資格を有する者は、その認定証の写しをすべて提出してください。							

注1）看護師資格を有する場合は、看護師国家試験受験資格を得た教育機関の卒業証明書および成績（単位修得）証明書が必要です。

注2）出願資格（11）の⑤により出願する者は、5年以上の看護師の実務経験を証明する在職証明書を提出してください。  
専門看護師教育課程に出願する者は、看護師の実務経験が5年以上あり、そのうちの3年以上は専門とする特定分野の経験であることを証明する在職証明書を提出してください。

※上記に該当する者以外は不要です。

注3）出願資格（9）で出願する場合、大学院を修了している者は、修了証明書を、修了していない者は在学期間証明書を提出してください。

## 入学検定料の納入

- ・入学検定料 30,000 円（入学検定料の他に、別途払込手数料 900 円が必要です）
- ・入学検定料支払いの領収書は提出不要です。本人控えとして各自保管してください。
- ・推薦入学試験・一般入学試験（Ⅰ期・Ⅱ期）不合格者の年度内再受験は、入学検定料が免除されます。

※年度内再受験を希望される方は、事前に事務局入試課に連絡してください（TEL. 0157-66-3311）

入試区分	振込取扱期間
一般入学試験(追加募集)	令和 8 年 2 月 9 日(月)～令和 8 年 2 月 20 日(金)

## 試験場

日本赤十字北海道看護大学(北見市曙町 664 番地 1) で実施。

## 選抜方法

学力検査、面接及び書類審査を総合して行います。

- 1) 学力検査 : 専門科目
- 2) 面接 : 1 人約 30 分程度で実施
- 3) 書類審査 : 提出書類により審査を行う

## 試験日時

入試区分	試験日	受付時間	科目名	試験時間
一般入学試験 (追加募集)	令和 8 年 2 月 28 日(土)	8:45～9:15	専門科目	9:30～11:00
			面接	11:20～

※面接は、1 人約 30 分程度で実施します。

## 合格者発表

入試区分	発表日時
一般入学試験(追加募集)	令和8年3月4日(水) 15:00

- 1) 本学ホームページ上に「合否結果照会サイト」を公開します。受験番号と誕生日を入力して合否結果を確認してください。公開期間は合格発表日時から1週間です。
- 2) 合格発表当日、合格者には合格通知書及び入学手続き書類を郵送します。
- 3) 「合否結果照会サイト」は、受験生の便宜を考慮し公開しているものです。正式には、本学が受験者本人宛に郵送する合格通知書を確認してください。
- 4) 受験生個別の合否判定結果に関する問い合わせには、一切応じられません。

## 入学手続き

### 1) 入学金の振込

以下の期日内に、合格通知書と共に送付する「振込依頼書」により銀行窓口で振り込んでください。  
 なお、日本赤十字北海道看護大学卒業生は入学金が免除になるので、「振込依頼書」は送付しません。

入試区分	入学金の振込期間
一般入学試験(追加募集)	令和8年3月5日(木)～令和8年3月18日(水)

注) 入学を辞退した場合も一旦納付された入学金は返還しません。

### 2) 書類の提出

令和8年3月18日(水)までに、合格通知書と共に送付する入学手続き書類に記された所定の手続きを取ってください。  
 入学手続き完了者には、入学許可書及び事務案内書類を送付します。

## 授業料等納付金

入学金および各学年の納付金については以下のとおりです。

### 1) 修業年限2年（標準年限）の場合

区 分		納付時期	金額（年額）	
			1 年目	2 年目
入 学 金		上記「入学手続き」参照	300,000 円	—
授業料	前期	4 月中	450,000 円	450,000 円
	後期	10 月中	450,000 円	450,000 円
実験実習料	前期	4 月中	150,000 円	150,000 円
維持運営費	前期	4 月中	150,000 円	150,000 円
合 計			1,500,000 円	1,200,000 円

### 2) 修業年限3年（長期履修制度）の場合

区 分		納付時期	金額（年額）		
			1 年目	2 年目	3 年目
入 学 金		上記「入学手続き」参照	300,000 円	—	—
授業料	前期	4 月中	300,000 円	300,000 円	300,000 円
	後期	10 月中	300,000 円	300,000 円	300,000 円
実験実習料	前期	4 月中	100,000 円	100,000 円	100,000 円
維持運営費	前期	4 月中	100,000 円	100,000 円	100,000 円
合 計			1,100,000 円	800,000 円	800,000 円

注1) 長期履修制度を希望する場合は、入学後に申請が必要となります。

注2) 納付時期になりましたら、振込依頼書を送付します。なお、入学金を除く各学年の年額（当該年度分）は、4 月中に一括納付しても差し支えありません。

## 担当教員連絡先

分 野	志望領域	担当教員	電話番号・メールアドレス
基盤看護学	基礎看護学	教 授 山本 美紀	0157-66-3336 mikiy@rchokkaido-cn.ac.jp
	基礎看護学	教 授 定廣 和香子	0157-66-3381 sadahiro@rchokkaido-cn.ac.jp
	看護管理学	看護管理学領域出願希望者は、事務局入試課へご連絡ください。	
臨床看護学	慢性看護学	特任教授 佐々木 由紀子	0157-66-3392 ysasaki@rchokkaido-cn.ac.jp
	クリティカル看護学	特任教授 尾山 とし子	0157-66-3393 oyama@rchokkaido-cn.ac.jp
	がん看護学	がん看護学領域出願希望者は、事務局入試課へご連絡ください。	
	老年看護学	教 授 仁科 聖子	0157-66-3391 nishina@rchokkaido-cn.ac.jp
	小児看護学	教 授 志賀 加奈子	0157-66-3613 shiga@rchokkaido-cn.ac.jp
広域看護学	精神看護学	教 授 増満 誠	0157-66-3334 masumitsu@rchokkaido-cn.ac.jp
	公衆衛生看護学	特任教授 喜多 歳子	0157-66-3364 tkita@rchokkaido-cn.ac.jp
	公衆衛生看護学	准教授 蓮井 貴子	0157-66-3371 hasui@rchokkaido-cn.ac.jp
	在宅看護学	在宅看護学領域出願希望者は、事務局入試課へご連絡ください。	
	災害看護学	特任教授 尾山 とし子	0157-66-3393 oyama@rchokkaido-cn.ac.jp
助産学	助産学	教 授 相馬 深輝	0157-66-3370 souma@rchokkaido-cn.ac.jp
		准教授 新谷 純代	0157-66-3358 shintani@rchokkaido-cn.ac.jp
		准教授 尾栢 みどり	0157-66-3321 ogaya@rchokkaido-cn.ac.jp

※出願を希望する者は、あらかじめ志望する分野の担当教員と必ず面談し、今後の研究活動について相談してください。  
電話・E-mail での相談も可能です。

## 個別の入学資格審査

「出願資格 (11)」により入学試験に出願しようとする者は、出願前に個別の入学資格審査（以下、本審査）により入学資格の認定を受ける必要があります。該当者は以下の内容を熟読のうえ、本審査の申請を行ってください。

### 1) 本審査の出願期間（締切当日消印有効）

入試区分	申請期間
一般入学試験(追加募集)	令和8年1月19日(月)～令和8年1月27日(火)

### 2) 本審査の申請書類等

下記の書類を事務局入試課宛に「簡易書留・速達」で郵送してください。

- ①個別の入学資格審査申請書
  - ②看護師及び助産師の国家試験受験資格を得た短期大学、専修学校あるいはその他の教育機関の卒業（修了）証明書と成績証明書（単位修得証明書）
  - ③看護師免許証の写しおよび保健師・助産師の免許資格を有する者は、その免許証の写し
  - ④在職証明書（看護師もしくは保健師・助産師として実務経験がある場合）
  - ⑤志望理由書
  - ⑥研究発表した抄録の写し（看護研究の成果を学術集会等で発表した者）
- ※申請書類①及び⑤は、本学ホームページからダウンロードしてください。

### 3) 本審査の審査方法及び結果通知

書類審査にて入学資格を審査し、本人宛に審査結果通知書を郵送します。

入試区分	結果通知
一般入学試験(追加募集)	令和8年2月6日(金)

## 出願書類の送付先及び問い合わせ先

〒090-0011 北海道北見市曙町 664 番地 1  
 日本赤十字北海道看護大学 事務局入試課  
 電 話 : 0157-66-3311  
 F A X : 0157-61-3125  
 E-mail : nyuushi@rchokkaido-cn.ac.jp

※照会は、受験を希望している本人が行ってください。

## 注 意 事 項

出願時の注意	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出願書類に不備のある場合は、受理しません。</li> <li>2. 出願書類に不正のあった場合は、入学許可の後でもこれを取り消します。</li> <li>3. 提出された出願書類及び入学検定料は返還しません。</li> <li>4. 入学検定料の支払いと必要書類の郵送を全て行い、書類に不備がないことが確認された時点で出願は完了します。出願完了者にはメールで通知します。</li> <li>5. 改姓・改名などによる氏名変更により、各種証明書に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、上記出願書類の他に戸籍抄本を提出してください。</li> </ol>
入学手続き時の注意	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定の期日までに入学金を振り込まなかった場合は、入学資格を失います。</li> <li>2. 指定の期日までに入学手続き書類を提出しなかった場合は、入学資格を失います。</li> <li>3. 入学金及び提出された入学手続き書類は返還しません。</li> </ol>
受験票について	<p>受験票は、「インターネット出願登録」及び「入学検定料支払い」完了後、印刷が可能になります。試験当日までに必ず印刷を行い、試験場に持参してください。また、入学者選抜が終了するまで大切に保管してください。</p>
受験上の注意	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 試験当日の受付は、以下の時間で行います。受付の係員に受験票を提示し、試験開始 15 分前までに試験室に入室し、着席してください。 【受付時間】 8:45～9:15（試験開始 9:30）</li> <li>2. 試験開始後 20 分以上遅刻した場合は、試験室に入室できません。 但し、公共交通機関の事故・遅れ、災害等の特別な理由による遅刻は入室を認めることがありますので、試験場係員に申し出てください。</li> <li>3. 受験票、筆記用具(黒色の鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)及び昼食を持参してください。</li> <li>4. 通信機能・辞書機能・計算機能を有する時計・文具・電子機器等の持込み及び定規・コンパス・下敷等の使用は認めません。</li> <li>5. 文字(英語・漢字等)・地図等がプリントされた衣類の着用は避けてください。 選抜に影響があると判断した場合、着用方法(裏返して着用する等)を指示することがあります。</li> <li>6. 試験場ではスマートフォンの電源を必ず切ってください。</li> </ol> <p>※ 上記の注意事項 4～6 を守らない場合、また、試験中に試験監督の指示に従わない場合は不正行為とみなし、当日の受験を無効とするとともに当該年度の受験を認めないことがあります。</p>
出願書類に記載されている個人情報について	<p>出願書類に記載された内容等、選抜を通じて取得した個人情報については、本学のプライバシーポリシーに基づき、適切に利用します。</p>
問い合わせ先	<p>入試に関する問い合わせは入試課へ照会してください。</p> <p>〒090-0011 北海道北見市曙町 664 番地 1 日本赤十字北海道看護大学 事務局入試課 TEL 0157-66-3311(代) FAX 0157-61-3125 E-mail <a href="mailto:nyuushi@rchokkaido-cn.ac.jp">nyuushi@rchokkaido-cn.ac.jp</a></p>

## 入学者選抜に関するQ & A

No.	質 問	回 答
1	推薦入学試験、一般入学試験(Ⅰ期・Ⅱ期)で不合格になった者が、一般入学試験(追加募集)受験することはできますか？	受験できます。 不合格者の年度内再受験に限り、一般入学試験(追加募集)の入学検定料は免除となります。
2	試験場の下見はできますか。	建物内に入つての下見はできません。試験場までの道順、所要時間等は、各自で下調べしてください。
3	試験当日に上履きは必要ですか、また、食堂は利用できますか。	上履きは不要です。食堂は営業していませんので、必ず昼食を持参してください。
4	追加合格はありますか。	不合格者に対する追加合格はありません。
5	合格後の入学手続きはどのようになっていますか。	合格後の入学手続きの流れは、 ①入学金の納付 ※本学卒業生(卒業見込み含)は、入学金免除になります。 ②入学手続き書類の提出 ③大学から入学許可書及び事務案内書類を送付 ④入学式出席 となっています。合格者には、合格通知書とともに入学手続きについての案内書類を送付しますので、書類に基づいて、所定の手続きを取ってください。

## 受験上の配慮について

障がいのある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、事前に相談を行ってください。

## 年度内の再受験について

推薦入学試験・一般入学試験(Ⅰ期・Ⅱ期)に不合格になった者が、一般入学試験(追加募集)を受験する場合、その年度内に限り入学検定料が無料になります。年度内の再受験を希望する場合は、「検定料無料コード」を発行するのでインターネット出願開始前に、事務局入試課に連絡してください。

※詳細は、「インターネット出願ガイド」を確認してください。



## プライバシーポリシー

学校法人日本赤十字学園（学園が設置する各大学・短期大学部を含む。以下「本学園」という。）は、個人の人格を尊重する赤十字の理念の下、業務上知り得たすべての個人情報を下記のとおり取り扱い、皆さまの信頼に応えてまいります。

### 1. 個人情報の利用目的明示と使用について

本学園が個人情報を収集する場合には、必ず利用目的を明示し、皆さまご自身の意思の下に情報をご提供いただきます。また、ご本人の承諾がない限り、利用目的以外に個人情報を使用することはありません。

### 2. 個人情報の第三者提供について

個人情報はご本人の承諾がない限り、第三者に提供することはありません。なお、特定個人情報については、この限りではありません。

### 3. 個人情報の開示、訂正、追加又は利用停止（削除）について

申し出があった時は、ご本人であること及びその事実等を確認し、登録された情報の開示、訂正、追加又は利用停止（削除）を行います。

### 4. 適用除外について

本学園は、皆さまの個人情報を上記のとおり取り扱いますが、次のいずれかに該当するときは、上記の取扱いを適用しない場合があります。

（1）法令に定めがあるとき。

（2）本人又は第三者の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、緊急かつやむを得ないとき。

### 5. 関係法令、ガイドライン等の遵守について

本学園は、個人情報保護法、特定個人情報の取扱いに関する法令及び関係ガイドライン等に則り、個人情報を適正に取り扱います。

### 6. 個人情報の安全管理について

本学園は、皆さまからお預かりした個人情報について、漏えい、滅失又は棄損を防止するために、「学校法人日本赤十字学園の保有する個人情報保護規程」のほか、関連規程等に基づき厳重な安全管理対策を実施します。

なお、業務遂行上、やむを得ず個人情報の取扱いを外部に委託する場合には、本学園の監督の下で十分な安全対策が確保できる業者と契約を締結の上、委託します。

## 個人情報の利用目的

入学志願の際、入学手続きの際及び入学後に提出いただく個人情報の利用目的

1. 学籍管理及び学籍の異動管理を行うため。
2. 学籍・異動、履修成績、証明書、調査、学生証等の帳票作成及び集計、また本人への送付・連絡のため。
3. 履修成績表の保証人への送付のため。
4. 就職関係情報の管理のため。
5. 学費情報の管理、帳票作成及び送付・連絡のため。
6. 図書館利用資格の確認及び利用者サービス実施のため。
7. 学内情報ネットワーク利用資格の確認及び利用者サービス実施のため。
8. 奨学金業務に関連する資料作成、また本人への連絡のため。
9. 学生の健康管理に関する資料を作成・保管するため。
10. 大学・短期大学からの広報誌（紙）の送付のため。
11. 納付金、募金依頼関連書類の送付のため。
12. 卒業生データを作成・管理するため。
13. 保護者の会、同窓会等（学生生活の支援及び会員相互の親睦と福祉を図るとともに、大学の発展に寄与することを目的として設立されたもの）、大学と密接な関係を持つ団体に連絡先情報を提供するため。
14. その他、大学・短期大学からの連絡のため。